




FIDANZA ENGINEERING CORPORATION

アルミフライホイール説明書

- ・ 本書は取付けを行う前によく読み、理解したうえで作業を行ってください。
- ・ ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用し作業を行ってください。
- ・ 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- ・ お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品はノーマル車両への取付けを基準に製作されています。
上記以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- ・ 本製品は付属品を含め、改良の為に予告なく変更することがあります。

安全上の注意


- ・ 本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。
- ・ 安全に正しくご使用いただくためにこの注意書を必ずお読み下さい。
- ・ 製品をご使用いただく場合は、「取扱い説明書」に準じて下さい。

 **危険** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合

 **警告** 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

 **注意** 取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を追う危険性が想定される場合（人害）

拡大物損の発生が予測される場合（拡大物損とは、該当製造物が原因で誘発された物質的損害）
（たとえば車両の破損及び焼損）

 **警告** 取付けの前に

- ・ 製品の改造、加工は行わないでください。製品が破損して重大な傷害につながる恐れがあります。
- ・ 電気系ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止する為に、バッテリーマイナス端子からターミナルケーブルを外してから作業ください。
- ・ 換気のよい場所で火気に十分注意して作業してください。
- ・ 車両をリフトアップする場合はバランスよく確実にリフトアップしてください。
- ・ リフトやミッションジャッキを使用する場合は不安定な場所ではない状態で作業ください。
- ・ 無理な作業はミッションを落としてケガをしたり、最悪の場合は死亡する恐れがあります。
- ・ 作業には十分注意し2名以上で確実に行ってください。

⚠注意 取付けの前に

- 作業前に、本製品が間違いなく適合するか、適合車種と部品番号を確認ください。
適合車種以外への取付けた場合は、製品の破損や事故等につながる恐れがあります。
- 規定トルクを厳守ください。規定トルク以下の場合、ボルトの緩みが発生し事故につながる恐れがあります。
- 目視により、本製品と純正品を比べ、取付け部やリングギア形状などに違いがないか確認ください。
クラッチディスクセット高さやカバー取付け部も確認ください。
- アルミ製で軽量タイプのため、若干フライホイール形状が違う場合があります。

⚠注意 取付け時の注意事項

- 車種によってクランクシャフトフライホイールあたり面の凸部とアルミフライホイールの取付け部分のクリアランスがきつい場合がありますその場合は下記に従って取付けをしてください。(容易に取付けが出来ない車種があります。)
- アルミ製フライホイールは、フライホイール取付け面に対し精密に製作されていますのでフライホイール本体の取付け面をホットプレート等で加熱しフライホイールボルトで締め付けると簡単に規定トルクで締め付けする事が可能です。
もしくは、フライホイールボルトで対角に数回に分けて均等な力で締め付けする事によって容易に締め付けする事ができます。最後に規定トルクで締め付けください。
- フライホイール取付けボルトで数回に分けて締め付けする場合、フライホイールボルトのフライホイール当り面にモリブデン系のグリースを塗布して締め付けをしてください。規定トルクで締め付け後、ブレーキパーツクリーナーでグリースを洗い流して洗浄してください。
- 締め付けトルクは指示がない限り、メーカーマニュアルの規定トルクにて締め付けください。
- フライホイール取付け面(クランクシャフト部)に、バリなどが無いか確認し取付けください。
- フライホイールボルトは指示が無い場合以外は、メーカー標準の新しいものを用意してください。
- パイロットブッシュやパイロットベアリングなど消耗した部品は必ず交換してください。
- フライホイールに回転センサーなどが付いている場合は、標準の物と同じように交換し調整ください。
- フライホイールにパイロットベアリングを取付ける際は、パイロットベアリングに少量のロックタイト(ネジ緩み止め)を塗布してください。
- フライホイール取付けボルトに少量のロックタイト(ネジ緩み止め)を塗布して取付けしてください。
- クラッチカバー取付けボルトが付属している場合は、付属のボルトを使用ください。
- クラッチカバーボルトを取付ける際は、フライホイール側のネジ部がアルミの為、慎重に締め付け作業を行ってください。最悪の場合ネジ山を損傷する恐れがあります。(特に注意してください。)
- 車種によってフライホイールのクラッチカバーノックピンが取付けされていない場合があります。その際はクラッチカバーをフライホイールに合わせノックピンが一致する穴に付属のノックピンをプレスして取付けてください。取付けの前に、少量のロックタイト(ネジ緩み止め)を使用ください。(クラッチカバーノックピンが取付けされていない車種にはロックタイト(ネジ緩み止め)が付属されています。)
- 本製品はCNCマシニング製作のアルミ製フライホイールのため、バランスが取れています。
- 本製品は、回転レスポンスの向上、対応出力の向上等の目的に設計、製作しているため、メーカー純正品と比較してトランスミッションやベアリングなどから発生する共振音(ガラガラ音)が伝わりやすい場合があります。特にアイドル時や2000rpm付近からの加減速時にトランスミッションなどより、ギアチャタリングが発生する事がありますが故障や不具合ではありません。
- 新しい状態ではないクラッチディスクとの組み合わせではディスクの歪みや変形、異常磨耗などの状態でディスクが確実にフライホイールと接触していない場合はディスクの交換をお願いします。
- フライホイール取付け後、各部に接触がないか確認し、接触がある場合は接触しないように加工ください。
- 強度確保の為にフライホイール取付け面が厚くなっている場合がありますので接触を確認ください。

注意 取付け後の確認

- ・ 取付け後、走行前にクラッチがスムーズに作動するか確認ください。
- ・ 組付け後、急激な発進や減速などせずに200km程度のナラシ運転をしてください。
フライホイールにクラッチディスクが確実になじみアタリが出ない状態ではクラッチの性能が発揮できない場合があります。
- ・ 取付け前と比べ、エンジンの回転数が変化しますが軽量になった影響なので問題ありません。

注意 オーバーホール時の確認

- ・ 本製品は、フライホイールのディスク面（ハイカーボンスチール部分）を交換できるようになっています。ディスク面の磨耗限界（0.1mm以上）を超えると使用できなくなります。新しいディスク面と交換してください。
- ・ クラッチに滑りが生じ、過熱状態（過度の滑り時）に至ったときに起こるヒートスポットやクラックなどの症状でもディスク面の交換が必要になります。（爪が引っかかる状態）
- ・ フライホイールディスク面の交換は専門業者に確認し依頼ください。（当社で交換サービスを行っております。その場合、交換工賃と商品の往復の送料はお客様負担になります。）
- ・ フライホイール本体が熱変形などによって回転時の振れが0.1mm以上の場合は本体交換になります。
- ・ フライホイールボルト部やクラッチカバーボルト部が破損していないか十分注意し確認ください。
- ・ 取外し後、フライホイール取付け面（クランクシャフト部）に、バリなどが無いか確認ください。
- ・ 各部の破損、損傷などを確認し確実に取付けできるように調整、修理ください。
- ・ オーバーホール時の消耗部品に関しては当社に確認ください。

注意 維持・管理

- ・ 快適に運転していただく為に日常点検を必ず実施してください。
- ・ 日常点検した時に周辺各部より異音等が出てないか、異常がないか確認ください。
- ・ 安全なメンテナンスはドライバーの責任になりますので点検は必要不可欠です。
- ・ 定期的な調整、整備は専門業者に依頼ください。
- ・ 異常、故障時の修理はお客様ご自身では絶対に対処しないで、必ず業者に依頼ください。

注意 譲渡等の際

- ・ 本製品を譲られる時は、必ず次のオーナーの為に本書（取り説）をお渡しください。
- ・ 本製品を取外す場合には、専門業者に依頼ください。
- ・ 本製品の使用状況でオーバーホール等の調整が必要な場合は作業者に相談し指示に従ってください。

取付けに関する不明な点はお問い合わせください。

株式会社 アイエーテック

〒921-8061 石川県 金沢市 森戸 1-69-1

Phone 076-240-8884

FAX 076-240-8804

E-mail info@iatec.net

URL <http://www.iatec.net>

